

C3 東京外かく環状道路 東名JCT工事における 大雨により生じた土留壁等の変状の復旧工事について

中日本高速道路株式会社東京支社が建設するC3 東京外かく環状道路 東名ジャンクション（JCT）工事の事業用地内において、2024年8月30日（金）に台風10号に伴う大雨の影響により土留壁※1等の変状を確認したことから、安全のため近隣の世田谷区道の通行止めを行い、9月7日（土）から迂回路をご利用いただいております。

これまで、安全を確保しながら、応急対応等の作業を実施していましたが、今般11月25日（月）から復旧工事を行いますのでお知らせいたします。

地域の皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

※1 掘削工事を行う場合に周辺土砂の崩壊を防止する壁

1. 土留壁等の変状原因

今回の土留壁等に発生した変状は、台風10号による大雨に伴い地下水位が上昇し、土留壁やアンカーに設計で想定した以上の土水圧が作用したことによるものと推定しています。

なお、東京外かく環状道路（関越～東名）のシールド掘進による影響について、掘進データや掘進後の地表面変位計測結果、掘進後の物理探査結果を再検証するとともに、変状原因を踏まえ、今回の土留壁等の変状は、シールド掘進による影響である可能性は極めて低いと有識者に確認しています。

2. 応急対応の状況

- ・事業用地内の地表面に生じた変状は、埋め戻し材により充填し、函体側空間へ注水を実施しています。
- ・土留壁や地表面の状況等の監視を継続して実施しており、これまで異常は生じていないことを確認しています。

3. 復旧工事の概要

- ・2024年11月25日（月）から復旧工事を行います。
- ・今回変状が生じた土留壁の南側で施工を予定していた地中連続壁や土留壁を構築し、土留壁背面を掘削し変状した土留壁の撤去を行います。

4. その他

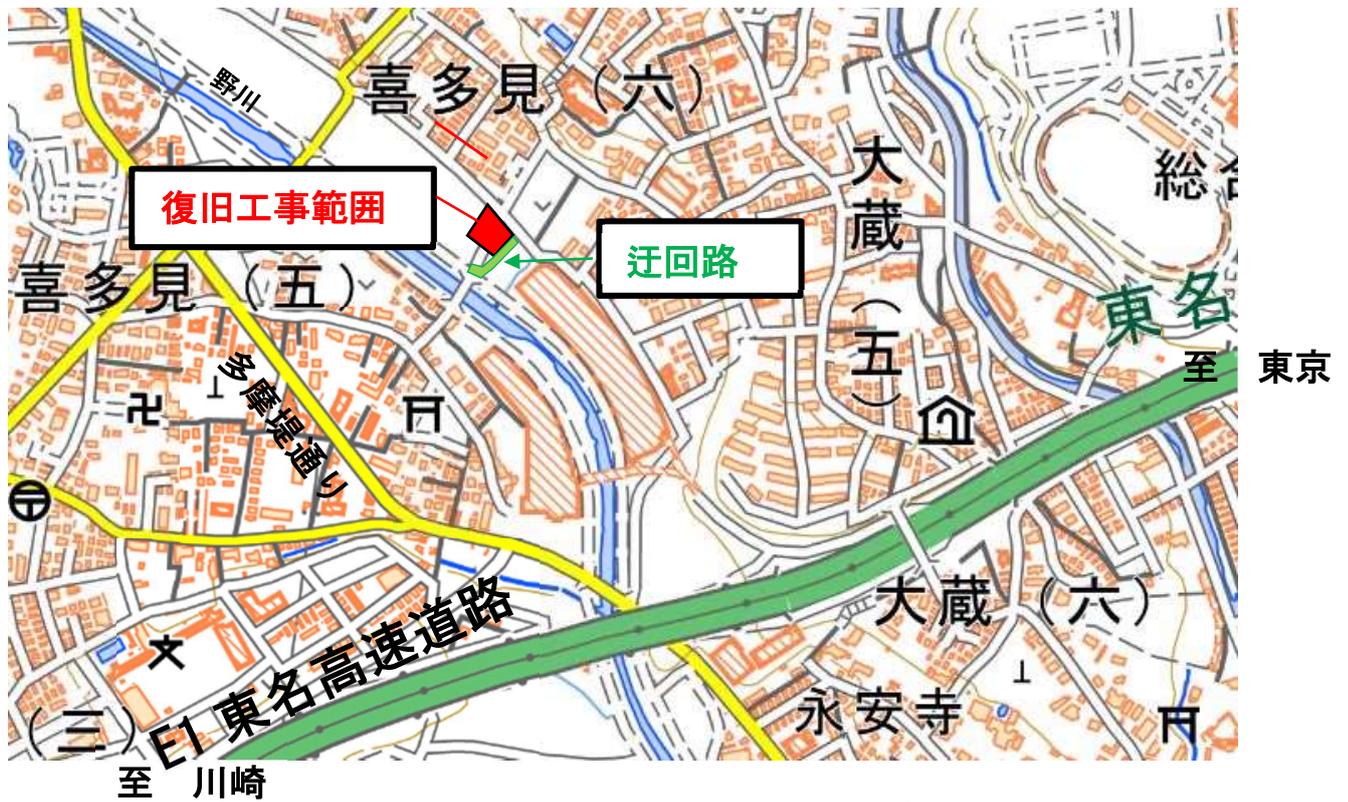
今回の土留壁等の変状を踏まえ、同様の土留壁について点検を行い、変状が発生していないことを確認しています。また、大雨による土留壁等の変状を速やかに把握し、安全確保のための対応を直ちに講じるために監視体制を強化するとともに、気象予測に基づいて速やかに現場点検を行うなど、工事の安全を更に高めるための対応を講じてまいります。

また、周辺の住民の方々には掲示板等により情報提供等の対応を行ってまいります。

《位置図》



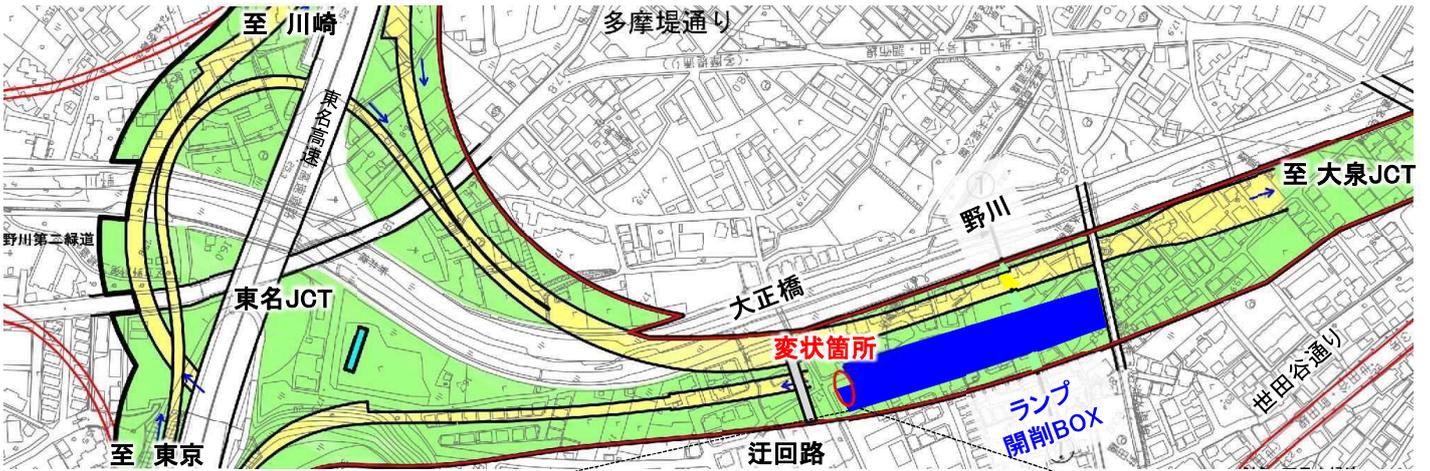
《拡大図》



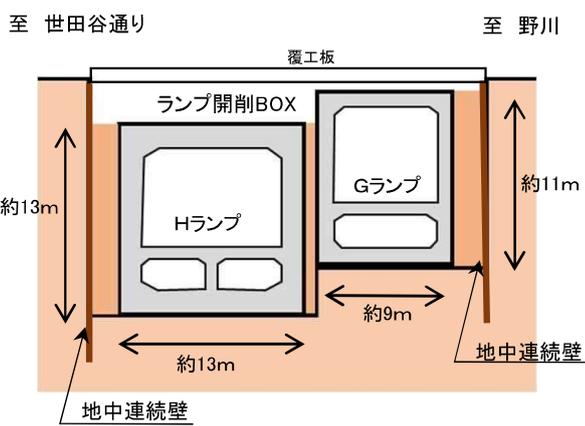
引用：国土地理院地図(電子国土 Web)

事象の概要

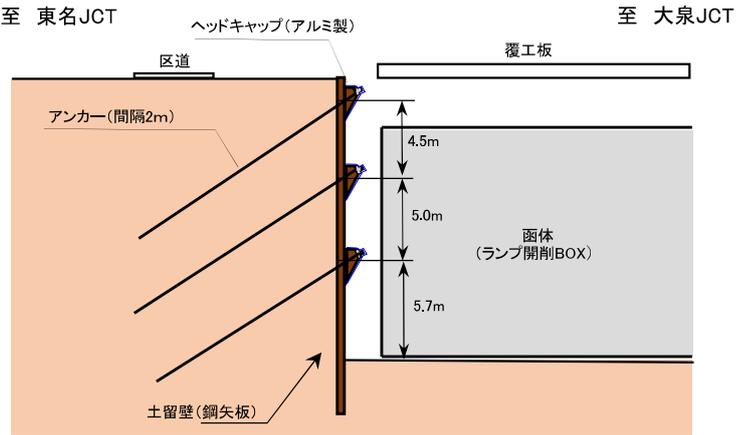
<平面図>



<断面図>



<側面図>



<土留壁の状況(8/30時点)>



<地表面の状況(8/30時点)>



応急対応の状況

○安全を確保しながら、応急対応等の作業を実施しています。

- ・ 事業用地内の地表面に生じた変状は、埋め戻し材により充填し、函体側空間へ注水を実施
- ・ 土留壁や地表面の状況等の監視を継続して実施し、これまで異常は生じていないことを確認

＜地表面変状の埋め戻し状況＞



＜函体側空間への注水状況＞



＜地表面の監視状況＞



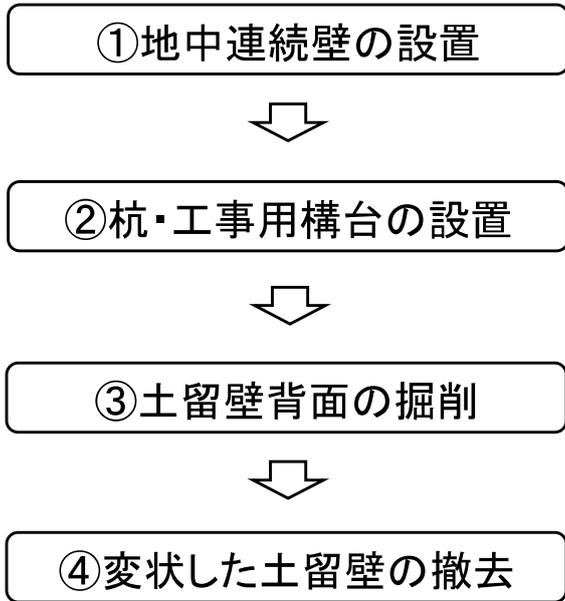
＜土留壁の監視状況＞



復旧工事の概要

- 2024年11月25日から復旧工事を行います。
- 復旧工事では、今回変状が生じた土留壁の南側で施工を予定していた地中連続壁や土留壁を構築し、土留壁背面を掘削し変状した土留壁の撤去を行います。

至 大泉JCT



至 東名JCT

<側面図>

至 東名JCT

至 大泉JCT

